

サンフランシスコ IAGG2017 世界会議 報告



「世界老年学会」との連携を目指して



モスコンセンター西館 コンベンションホール 会場ビル

報告者 田邊恵三 (会長)

2017 年 7 月 23 日、「世界老年学会」がサンフランシスコで開催された。その前日、田邊会長はアメリカに向けて飛び立った。

【活動記録】 ～目標に向かって～

7 月 22 日、ナパ バレーから車を飛ばしサンフランシスコ市の中心ユニオン スクエアの東方近くにある常宿 Hotel TAJ Camton Place にチェックインした。

ポーターが運んできたスーツケースはそのままにして、部屋を飛び出し通りに出た。

ホテル マリオットを見つけ、4 階のパシフィック ルームを下見した。翌日の 2 時に、JILANN CHEN 女史と面談を予定しているからだ。

ホテルのコンシェルジュに 23 日か

2017」の会場について尋ねると、1 ブロック西側にあるモスカン コンベンション センターであることが分かった。一応、表に出て確かめると、「IAGG2017 WELCOME」の看板のある大きな建物が目に入った。

その後、ホテルに戻り、今回の学会参加をアレンジしてくれたアメリカ老年学会・国際部の JILANN CHEN 女史への提案書、お土産などをチェックした。

提案書は、張俟先生、山口博美准教授、田邊の3人で作成したものだ。それに、篠原教授の TV 出演 DVD を 50 部を添えた。

【LAGG へのアピール】 ～健康マージャンを猛烈アピール～

7 月 23 日、約束の 10 分前に部屋を訪れると、JILANN CHEN 女史は優しく笑顔で迎えてくれた。そして、チェスの SILAS ESBEN LUND 夫妻を紹介して下さり、ともにこれからの活動について意見交換した。

今回の大会は、Gerontology & Geriatrics(老年学と老年医学)の観点から、6 千人を超える世界中の学者や関係者が一堂に会し、人間の老化現象について医学的、生物学的、社科学的、心理学的など、多角的視点から考察を行う世界会議であ



ジリアン チェン女史(アメリカ老年学会国際部主任)と懇談

る。それぞれの項目ごとに 5 日間にわたり、セッションが行われる仕組みが採用されている。

私は、このような項目の一つに、ウエルネス マージャンが高齢化に対して大きな貢献や寄与を果たしていることを踏まえ、新たな視点で取り上げていただくよう強く要請した。



シラス エスベン ランド氏(チェス国際マスター)らと会談。ウエルネスマージャンについて説明、資料 50 部他を手渡した。

田邊会長が提出した要望書(全文) To the participants of the IAGG2017 World Congress

「IAGG2017 世界会議」の盛大な開催を心から祝福します。

私は、一般社団法人日本健康麻将協会会長の田邊恵三と申します。

皆様には会議中のご多忙の中、私達団体活動の中から該当資料(DVD)並びに、中国・張俟先生の資料をお受け取り頂き、心から感謝いたします。

さて、現在日本人の「平均寿命」は 83 歳、「健康寿命」は 76 歳で、共に世界一の高齢社会国家となり、毎年記録(政府機関発表)を更新しております。

日本に限らず先進国において、人類は近年医療そして衣食住に関わる飛躍的なイノベーションや社会制度の向上によって、これまで経験したことのない高齢社会を実現しました。

しかし本来、この恩恵を享受すべき人類が、一方では、急速に高齢社会になったことによる年金や医療費そして介護などの、マイナス面の課題に直面し、新たな課題対策への取り組みが急務となった現実があります。

その一つが大認知症時代への対応です。

健康でいきいきとした生活の「健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)」と、「平均寿命」の差(女性 12.68,男性

9.13・・・政府機関発表)を、どのようにして短縮できるか？

「健康寿命延伸対策への取組み」が今、正に喫緊の課題となってまいりました

そのための医療、介護、看護対策こそ最重要課題であることを前提として、それとは別の視点で、私たちは認知症の発症予防として、脳トレーニング「ウエルネス マージャン」の普及活動に取り組んでまいりました。

私たちのこの取り組みについて、ぜひ皆様のご理解をいただき、ご協力を賜りますよう、切に希望するしだいであります。

脳トレーニングについて日本の著名な脳科学者である篠原菊紀教授(TV 出演 DVD 参照)は、

- ① 日常的に頭を使う
- ② 日常的に体を使う、そして
- ③ 社会参加

の三つの要素を挙げています。

この三つの要素を「充足且つ継続」させるための「必要且つ十分な条件」は、「易しく学べ、楽しく、面白い」といわれるのが、「ウエルネス マージャン」です。

「ウエルネス マージャン」が、日本厚生労働省・地方自治体が毎年開催する「全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)」に正式種目として 2007 年から採用され、政府は高齢者対策への取り組みをスタートさせました。

「健康寿命はウエルネス マージャン普及で決まる!」と題したシンポジウムを、私たちはマージャンの発祥地・中国北京で来春、開催することを計画しております。

参加ご希望の方は、「IAGG2017 世界会議・事務局」まで、ご連絡を賜りますようお願い申し上げます。

To the participants of the IAGG 2017 World Congress

Greetings, my name is Keizo Tanabe, and I am the Chairman of the Japan Wellness Mahjong Association. I offer my heartfelt congratulations and best wishes to the IAGG for the commencement and success of the 2017 World Congress. I would also like to express my humble appreciation for your willingness to receive and consider the publications and materials from our Association and Mr. Zhang Binfa of China.

The average Japanese life expectancy is now 83 years—with an expectation of a healthy and active life until age 76. With this long life expectancy, Japan has become the world's most elderly nation. But many other developed countries also have aging societies as the result of modern advancements and innovations in medicine, diet, clothing, housing, and social services. In order for humanity to truly benefit from these modern advancements, there is an urgent need for society to address the new concerns this longevity creates, such as pensions, medical expenses, and care for the elderly. But this is also a new era for society with respect to dementia.

The average difference between the length of healthy active life, lived without restrictions, and total average lifespan, is 12.68 years for women, and 9.13 years for men. How can we reduce this difference between healthy, active life and total life?

Initiatives to increase healthy, active life expectancy are now an urgent issue. Medicine and nursing care are high priorities. From a different point of view, our Association has been advancing "Wellness Mahjong" as a method of training the brain. In order to prevent the onset of dementia, we appreciate your interest in our efforts and sincerely hope for your cooperation.

Professor Kikunori Shimohara, a prominent Japanese brain scientist, emphasizes three important practices:

- 1) Using one's brain daily
- 2) Using one's body daily
- 3) Regular social interaction

It is important to provide satisfying and interesting activities in which to do these three things in order to ensure that people continue to make such efforts. "Wellness Mahjong" has been recognized as easy to learn, fun, and interesting. For this reason, the Japanese Ministry of Health, Labour and Welfare and Japanese local governments have incorporated "Wellness Mahjong" as an official event in Japan's annual National Health and Welfare Festival (nickname: "Nenrinking") for the elderly.

We are planning to hold a symposium titled "Healthy life expectancy benefits from spreading Wellness Mahjong" next spring, 2018, in Beijing, the 16th place of Mahjong. Anyone who is interested to participate is invited to contact the IAGG Secretariat.

Thank you again for your kind welcome and interest, and congratulations on the success of the World Congress.

July 2017
Japan Wellness Mahjong Association
Keizo Tanabe, Chairman

田邊会長が提出した英文レター